

次期戦略的イノベーション創造プログラム（次期SIP）
課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」に係る
第2回検討タスクフォース 議事要旨

1. 日時：令和4年6月29日（水） 10時00分～11時45分
2. 場所：文部科学省18階研究開発局第1会議室及びWeb会議（Teams）によるハイブリッド開催
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議題
 1. 検討TFメンバー紹介
 2. 次期SIPについて（留意事項 運営方針等）
 3. 検討TFのスケジュールについて
 4. 「サーキュラーエコノミーシステムの構築」基本方針案の説明
 5. 関係各省からの提案内容の説明
 6. 調査分析機関について（スケジュール、公募仕様書）
 7. その他 今後の予定
5. 配付資料
 - 資料1 検討TFメンバー
 - 資料2-1 次期SIPの概要とフィージビリティスタディの運営方針等
 - 資料2-2 次期SIP留意事項（各課題候補に係るPD候補の選定に当たっ

て特に重視する視点/PD 候補に期待すること)

資料 3-1 FS スケジュール案 (暫定版)

資料 3-2 サーキュラーエコノミーシステム RFI 一覧

資料 3-3 サーキュラーエコノミーシステム RFI 結果整理の例

資料 4 「サーキュラーエコノミーシステムの構築」 基本方針案

資料 5-1 関係各省提案サブ課題説明資料

資料 5-2 文部科学省提案資料 (リサーチインフラ)

資料 5-3 環境省 SIP TF 説明資料

資料 5-3 (参考資料): 循環経済を通じた生物多様性・自然資本への影響評価と情報公開

資料 6-1 調査分析機関調達 スケジュール

資料 6-2 : 調査分析機関調達 公募仕様書資料

6. 要旨

- (1) 冒頭参加者紹介に続き、内閣府より、次期 SIP について (留意事項、運営方針等) 説明があった。
- (2) 研究推進法人から、今後の FS のスケジュール、情報提供依頼 (RFI) の内容、及び整理方法の報告があった。なお、RFI の整理については、有識者が改めて内容を確認し整理することとなった。
- (3) 伊藤 PD 候補から、次期 SIP 課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」の基本方針について説明があり、本 SIP が目指す目標・技術課題の解決策、SPD 候補及び戦略コーディネーター候補案、マネジメン

トの方向性について了承された。

- (4) 環境省から中核的研究開発テーマ等へインプットとして資料の説明があった。関係省庁からは、本年4月からプラ法が施行されていることに留意しつつ、プログラムの成果が国内だけでなく、海外にも発信できるものとなるよう期待が寄せられた。
- (5) 研究推進法人から、調査分析機関の調達について、調達スケジュールと仕様書の内容について説明があった。仕様書のうち中核的研究開発テーマ候補のうち「①産業用途材料の脱架橋・解重合」について、テーマが特定の分野に偏ることがないようにと意見があった。
- (6) 検討 TF の座長代理として岡部朋永氏（東北大学大学院 教授）が選任された。また、次回の検討 TF について、FS 実施方針を議題として7月末に開催することが了承された。

以上

次期戦略的イノベーション創造プログラム(次期SIP)

課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」第2回検討タスクフォース 出席者リスト

【座長(PD 候補)】

伊藤 耕三 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

【オブザーバー】

岡部 朋永 東北大学院工学研究科 教授

【関係省庁】

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

経済産業省 製造産業局 素材産業課 革新素材室

経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課

環境省 大臣官房総合政策課 環境研究技術室

環境省 環境再生・資源循環局総務課 リサイクル推進室

環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室

デジタル庁 国民向けサービスグループ

デジタル庁 戦略・組織グループ企画・審査担当

【研究推進法人】

独立行政法人環境再生保全機構

【事務局】

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 統合戦略(エネルギー環境)担当